令和７年度学校評価結果報告書

桶川市立桶川東中学校
校長　　吉田　由紀恵

１　目指す学校像

＜基本目標＞　明るいあいさつ　○輝くひとみ　○みなぎる力

◎学ぶ意欲と豊かな人間性にあふれ、進んで心と体を鍛える生徒の育成

２　評価結果

領域	No.	評価項目	自己評価		学校関係者評価　または学校運営協議会における評価
			評価	・説明及び学校の考え　　☆改善策	
組織・運営	1	学校は、学校教育目標達成に向けて、校務分掌等が機能し、組織的に取り組んでいる。	B	前期：3.27　後期：3.33 ・目標達成に向けて、声をかけあい、校務分掌等が機能している。 ・生徒指導委員会等で組織的に対応できているが、負担がかかっている職員もいる。 ☆共通理解を図り、共通行動ができるようにしていく。校務分掌の整理、分担の確認をしていく。	・校務分掌や学年間において調整・連携がとれている。 ・学校教育目標を意識した組織運営ができている。 ・学年・クラスごと、目標達成へ向けた日々の努力がうかがえる。 ・少しずつ改善されている。引き続き頑張ってほしい。 ・教師不足の問題がある。
	2	学年は、学年目標に基づき、学年集団として機能している。	A	前期：3.62　後期：3.72 ・各学年主任を中心に連携がとれている。 ・ベテラン教員が若手教員にアドバイスをしながら学年集団として機能している。 ・生徒の実態を把握するために、学年で生徒の様子を細かく共有できている。	
	3	学級は、学年目標に基づき、学級集団として機能している。	A	前期：3.31　後期：3.72 ・各学年主任を中心に連携がとれている。 ・ベテラン教員が若手教員にアドバイスをしながら学級経営を改善している。 ・生徒の実態を把握するために、学年で生徒の様子を細かく共有できている。	
	4	教職員は生徒との信頼関係を構築するために組織的に対応している。	A	前期：3.69　後期：3.63 ・学級目標を学期ごとに振り返り、生徒に意識させている。 ・毎日の目標決めと帰りの会での振り返りができている。	
学習指導	5	学校は、授業規律を確立し、落ち着いた雰囲気の中で授業が展開されて	A	前期：3.42　後期：3.52 ・教科担当の先生の声掛けで、落ち着いて授業に参加できる環境になっている。 ☆授業前後のあいさつをしっかり行えるようにするとともに、教員もチャイムで始まり、チャイムで終える	・生徒は落ち着いて学習しており、学習規律が確立されている。 ・子供たちに寄り添った学習指導がなされてい

		いる。		ように計画的に授業を行う。	る。今後は、学力に個人差がある中で、さらに個別最適な学習の展開が課題である。 ・ベテラン教師が若手教員に指導し、連携が上手にとれている。
	6	学校は、教科指導計画に基づき、授業改善に努め、基礎学力をつけている。	A	前期：3.42　後期：3.67 ・全体的に学力を向上させられるような授業（スモールステップ、協働的な学習等）を行えている。 ☆1 時間の授業で何か「できた」と感じられる課題設定をしていく。	
	7	学校は、生徒が主体的・実践的な活動ができるように、学校行事、生徒会活動、道徳、学級活動などを通して指導している。	A	前期：3.54　後期：3.52 ・実行委員会を組織して準備段階の指導が行われている。 ・担当教員の企画力や運営力にかかってきている部分が大きくなってしまっている。 ・部活動など、他の活動との両立が難しい部分もある。 ☆取組の時間の確保が難しい中で、限られた時間の中で最大限の効果を発揮できるように、生徒が主体となって取り組めるような指導を行っていく。	
生徒指導・教育相談	8	学校は生徒が友達や教職員・来校者に進んで挨拶ができるように指導し、成果をあげている。	B	前期：3.31　後期：3.22 ・校内ではあいさつをしっかりと行っている。 ・挨拶は以前より少し改善されているが、課題がある。 ・昇降口前のあいさつ運動はしっかり活動しているがあいさつを返さない生徒もいる。 ☆授業時の開始、終わりのあいさつからしっかりする。	・生活の基本である挨拶運動に努力され、外部者へも積極的に挨拶をしている。 ・挨拶はできているが、場所や状況に応じたあいさつが課題である。 ・先生方には見本となって根気強く指導にあたってもらいたい。 ・あいさつができる・できないでその生徒の今後の人生が変わると思う。 ・健康の大切さを改めて指導していただきたい。 ・いじめ撲滅に取り組んでいる。さらに教育相
	9	学校は、いじめや意地悪な行為をすることなく、生徒相互に尊重しあう学校生活を送れるような環境を作っている。	B	前期：3.15　後期：3.48 ・いじめを見逃さない風土をさらに作っていく。 ・学校全体でいじめ撲滅宣言を作成したり、教員が見守りを続け、安心して過ごせる環境を作っている。 ・生徒同士のトラブルが起こることはあるが、継続的に取り組み、見守りにも力を入れている。 ☆全体での授業（ソーシャルスキル等）を学校行事と関連付けて設定する。 ☆いじめや悩みを相談できる生徒だけでなく、埋もれてしまう生徒が出ないように、個々にさらに目を向けていく。	

	10	学校は、生徒が困ったとき、周囲に相談しやすい環境を整えている。	B	前期：3.50　後期：3.78 ・担任や学年職員だけでなく、補助員の方や相談員の方など様々な職員が生徒を見て、普段の様子と違うことなどを情報共有して対応している。 ・生徒が安心して相談室を利用している。 ☆相談員による 1 学年の全員面談は継続していいただきたい。 ☆生活ノートの活用もしていく。	談の推進が課題である。 ・いじめがあった後の見守りなどいじめの抑止につながっていると思う。 ・自己肯定感を上げるためにできる活動を学級活動の時間に取り入れてはどうか。
健康教育	11	学校は、生徒の体力向上に向けて、体育や部活動などに積極的に取り組んでいる。	B	前期：3.46　後期：3.41 ・意欲的に生徒は取り組んでいる。 ・部活動にも力を入れている。 ☆備品など、活動の幅が広がる費用を増やしていく。	・栄養教諭や生徒会による給食や食育の充実が図られている。 ・家庭科の夏休みの宿題をすることによって食への興味・関心が変わり、作り手の大変さを理解しているので、続けてほしい。 ・朝食欠食ゼロキャンペーンなど本来家庭の問題まで、学校の指導が必要になったこと、教職員の対応の大変さに頭が下がります。
	12	学校は、バランスとれた食事と生活リズムの大切さを積極的に理解させている。	A	前期：3.46　後期：3.50 ・朝食欠食ゼロキャンペーンや家庭科からの夏休みの宿題等で意識喚起を行っている。 ・学校保健委員会や保健の授業を通して指導している。 ☆引き続き取組を行い、家庭にも周知していく。	
学習環境	13	学校は、落ち着いた環境づくりを組織的に進めている。	B	前期：3.46　後期：3.48 ・落ち着いた生活ができている。 ・掲示物を作成し、クラスに促す活動ができている。 ・学習支援室も落ち着いている。 ☆帰りの会でロッカーの上などを整理していく。	・盗撮防止の観点からよく安全点検が行われている。 ・さらなる一人一台端末や視聴覚機器の活用をしてほしい。 ・教室のロッカーの小ささが気になる。今後も改善策を学校運営協議会で話し合っていけたらと思う。 ・生徒用に大きいサイズ
	14	学校は、教材備品を充実整備し、学習環境の充実を図っている。	B	前期：3.65　後期：3.00 ・タブレットの故障による不足や、変形している机やイスなど、教材備品の充実など改善が必要である。 ・備品については、壊れている物を新たに購入するだけでなく、機能面の向上を図り刷新すると良い。 ☆安全点検と同時に教材備品の点検等も行えると良い。 ☆リモート授業用のタブレットを確保していく。	

	15	学校は、生徒が身辺の整理・整頓や清掃活動に務めるよう指導し、効果を上げている。	B	前期：3.00　後期：2.96 ・清掃活動を教員が一緒に行うことで効果が上がっているが、さらに丁寧に掃除を行えるように指導が必要である。 ・ロッカーの荷物の整理整頓が課題。 ☆整頓、清掃について教職員の意識向上を図るとともに、東中清掃スタンダードを確立する。	のロッカーを廊下に置くなど対応が必要。 ・設備の老朽化や教材の少ない中で努力している。
教職員の資質向上	16	学校は、教職員の服務規律の確保に努めている。	A	前期：2.88　後期：3.70 ・定期的な研修等を通して、服務規律への意識を高めている。	・服務規律の確立や働き方改革に努めている。 ・夏季休業中の研修など努力がうかがえる。資質向上や授業力向上のためのさらなる研修の充実が必要である。 ・先生方がまずは心身ともに健康でいられるようにしてほしい。
	17	学校は、教職員の指導力向上に計画的・組織的に取り組んでいる。	B	前期：3.65　後期：3.48 ・担当者が企画、運営し、教職員の指導力向上につながっている。 ・学校課題研究を通した研究が効果的であった。 ☆計画的、継続的な研修の機会を設定していく。	
家庭・地域の連携	18	学校は、PTA活動や地域活動を重視し、保護者、地域との連携・協力している。	B	前期：3.58　後期：3.41 ・PTA 活動が全国的に減少し、地域・保護者との活動の機会が減少している。 ・三者（生徒・保護者・教員）で行う活動、除草作業などは効果的である。 ☆三者合同、学校応援団などの活動を引き続き計画的に行うとともに、チャレンジ等でつながった地域人材を活用していく。	・便りやHP、ｅメッセージにより学校の情報がよく発信されている。 ・ＰＴＡや地域の協力が一層いただけるように環境整備活動などへの呼びかけなどで地域の人材活用ができるようにするなど、工夫をしてほしい。 ・学校運営協議会で熟議ができるようになった。 ・三者合同の活動の日を学校公開にしたり、イベントを同じ日に行うことにより保護者の参加率が上がるのではないかと思う。 ・家庭・地域との連携がとれなければ学校運営に支障が出るので、今後もこの連携を守ってほしい。
	19	学校は、学校だよりや学年・学級通信・ホームページ等で、教育活動の様子や成果・課題について情報提供している。	A	前期：3.15　後期：3.78 ・程よいペースで情報発信ができている。 ・情報提供は適切だが、生徒から保護者に届かないことがある。 ☆ｅメッセージをさらに活用した連絡を行う。 ☆クラスルームを活用した生徒への連絡・情報提供を行う。	